

広報

ふじかわ



9月号

●平成元年9月5日発行 No.337

町のメモ

平成元年9月1日現在	
人口	17,356人
増減	+40人
男	8,548人
女	8,808人
世帯数	4,608世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画調整課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩瀬 121

ぬいぐるみもいっしょに
夏まつりを楽しみました (ふじかわ夏まつり)



町のことしの目標 「健康な心とからだで住みよい町に」

他人ごとではないのです 検診

「人生八十年」時代と言われる今日、国民の総体的な「寿命」が伸びたことは事実ですが、健康な身体で八十歳を迎えられる方はごくまれで、

何らかの病気を伴いながら年齢を重ねていくのが現実です。図1でもわかるように、富士川町でも死亡原因の多くは「三大成人病」と言われる、心疾患・脳卒中・がんが占められ、特にその比率が七十二・八%と、全国平均の六一・七%を大きく上回っています。

ここ数年、町民の健康に対する関心は特に高まっていますが、仕事や家事に追われ、また中には「自分の身体は自分でわかる」と検診を避け

ている方もおり、せっかくの機会を他人ごとのように受け止めている方も見られます。「人生八十年」を謳歌するには、やはり常に健康への関心をもち、「成人病」の予防のため機会あるごとに検診を受けて、病気を早期に発見すると同時に、積極的に健康を確認しながら生活することが前提条件となります。

家族だんらの 話題に 健康

早期発見、 早期予防の 実践

健康を自分でつくる時代

町では毎年「早期発見、早期予防」を合言葉に、成人を対象とした一般検査をはじめ各種検査を実施し、みなさんの健康チェックを行っています。また、蒲原病院の健康検査センターも人間ドッグ中心の業務を始めました。一般検診などのデータは健康づくりの大変貴重な資料となるので、その内容を紹介しながら、健康について考えてみましょう。

各種検診の主な受診率は表1のような状況で、国での目標値と比べると低くなっています。今後、受診されない方への呼びかけをはかるとともに、保健婦を中心にみなさんが受診しやすい検診体制を整えていきます。町の検診に該当する方はぜひ、検診を受け、異常のない方は健康歴を積み重ねましょう。また異常のある方は、かかりつけの医師の注意を守るとともに、次回は「異常なし」に近づきよう、生活を見直し、よい習慣づくりに努力したいですね。

人間ドッグを 応援します 国保

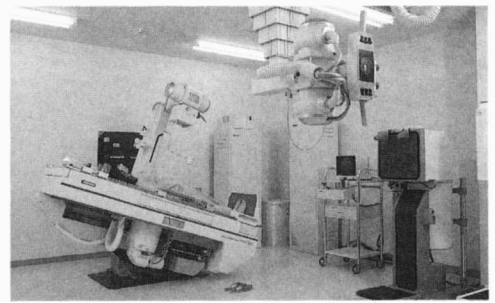
検診は私たちの健康づくりのアドバイザー

町の一般検査などのほか、私たちが病気から身を守る方法として、人間ドッグ定期検査があります。

国民健康保険では、被保険者を対象に、毎年、一日人間ドッグを実施しています。年齢は、満二十歳から六十九歳までの人で、料金の三割負担（国保が七割負担）で受けられます。今年も五十人の希望者が七月から八月にかけて、蒲原病院の健康診断センターで人間ドッグを行いました。中には毎年、この制度を利用し、人間ドッグを受けている方もおり、これから年齢制限をなくし、七十歳以上の方も受けられるように配慮してまいります。

成人病の 早期発見に 人間ドッグ

蒲原病院の人間ドッグを中心とした健康診断センターが六月からオープンし、三カ月が過ぎました。この間、一日と一泊二日の人間ドッグを受けた人は、一日平均十二名です。一泊二日の人間ドッグは、が



この建物は、厚生年金
国民年金積立還元融資を受けています。

ん検査も四項目入っていて、すべての機能についての検査をしています。体のどこかに異常がみられた人は、四十代から五十代に集中し、肝機能、血圧、腎機能の異常が多いようです。結果については、細かなデータで、本人の状態がわかるので、その場での確な判断ができます。

富士川町の疾病構造も全国と同様「成人病」中心の構造となっており、疾病の早期発見や日常の生活管理による予防が重要となります。病気の予防に関心をもち、実行しても、年齢とともに成人病は発生します。そこで、症状がでる前に発見するため、年一回の検診や人間ドッグを受けることをおすすめします。

表1 町が成人を対象に行った検診（昭和63年度）

検診区分	対象者	対象者	受診者	受診率(%)
一般健康診査	40歳以上の方。ただし、職場で診断を受けられた方や治療中の方などを除く。	2,825 ^(A)	1,047 ^(A)	37.1
胃がん検診	胃がん検診は35歳以上。	3,775	783	20.7
子宮がん検診	子宮がん、乳がん検診は30歳以上の婦人を対象。	3,061	500	16.3
乳がん検診		3,061	565	18.5
肺がん検診	40歳以上の方（結核検診と同時）	3,419	3,026	88.5
一日人間ドッグ	国保の被保険者		41	
胸部レントゲン	19歳以上の社会人の方	4,502	3,851	85.5

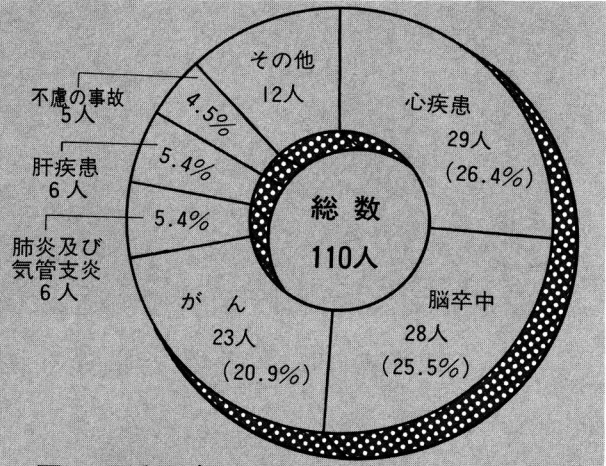


図1 昭和62年の死因別死亡者数（富士川町）

検診は健康のバロメーター



今宮千恵子さん
（相生町）

病気がない病気がなかったことがなく、町の一般検査を健康のバロメーターとして、毎年、主人と受けています。「異常なし」の結果を受けると、安心します。今回は新しい保健センターでの健診で、気持ちよかったです。

年に1回は自分の体をチェック



斉藤五夫さん
（相生町）

多少、体に異常があっても無視して生活してしまいます。病気が気付いた時には手遅れの場合もあるので、一年に一回は、自分の体をチェックしてもらうことは必要だと思ふ。人間ドッグを受けたことがないので、受けてみたい。

夏まつりは面白く

ふじかわ夏まつりも今年で三回目を迎え、会場に集った大勢のみなさんが、地域のふれあいを肌で感じ、町民のみなさんの間に、このお祭りが、富士川町の夏になくてはならない「風物詩」として定着してきました。このイベントが始まって、まだ三回ですが、町民のみなさんや企業団体などからのご支援とご協力に支えられ、大きく育っています。

二年後には町制九十周年も控えています。九十年の歴史には、いろいろなことがあります。この夏まつりがこれからの富士川町の歴史に足跡を刻み、町民みんなで楽しめるイベントとして、これからも続けていきたいですね。

この夏まつりを「準備が大変だったわりに、ゴミの山だけが残って、ムダまつりじゃないか」などと言わないでください。では、この夏まつりはなぜ始まったのでしょうか。昭和六十一年「町制八十五周年記念町民体育大会」の前夜祭で、聖火リレーや富士川の河川敷を利用して、花火大会が開催されました。この花火大会が町民のみなさんに好評を博し、



まつり市は、チビッコたちの天国

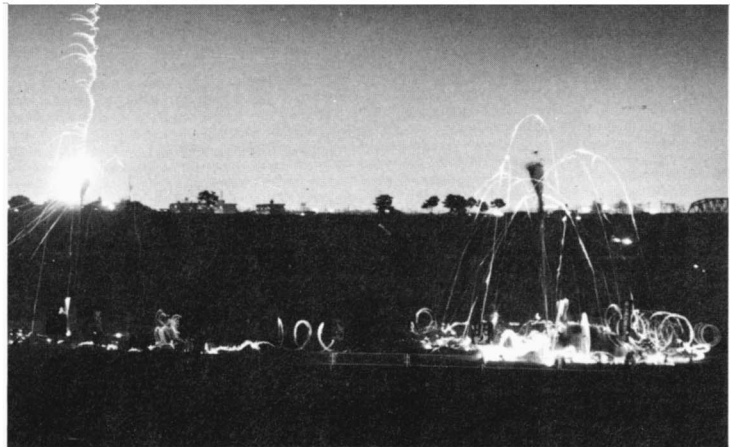
第3回ふじがわ夏まつり

ふるやちのお祭りは
ふれあいのキャッチボール

Festival



ハッピー姿も艶やかに、提燈の下で踊る盆おどりに、思わず表情がゆるみます。



今年も富士川の河原に投げ松明がきれいな弧を描きました。

澄みきつた空に花火が炸裂

八月六日、台風十三号の影響で、午前中から心配された雨が、ポツリポツリと降り出しました。しかし、河川敷では、大北区と木島区の人たちの指導で役場職員(有志二十人)が、急ピッチで投げ松明の準備を進めていました。前回の夏まつりで経

験している人が多く、作業はスムーズに進み、雨で松明が濡れてしまうことを考慮して、灯油を多くかけたリ、大きな松明をビニールですっぽり包み、雨対策も万全。

オープニング・セレモニーが始まる頃には雨が強く降り、花火大会、投げ松明や一中グラウンドでのまつり市は、明日に順延と決まったのです。しかし、中央公民館ではカラオケ大会、藤井一子さんのコンサート、富士見高校生による太鼓の打ち鳴らしが行われ、大勢の人を魅了しました。

翌日夕方、会場の中グラウンドには、まつり市や提燈が並び、盆おどり大会も会場いっぱいになり広げられ、澄みきつた空に、花火が盛大に打ち上げられました。



花火の打ち上げもビューティフル



藤井一子さんの歌に会場は大フィーバー



カラオケ大会に優勝した鈴木優子さん(新町)

赤い法被も艶やかに
富士見高校の太鼓の打ち鳴らし



この講座で本一冊以上の文化教養があなたのもの!

静岡県立大学

「特別公開講座」開設

私たちが取り巻く社会環境の変化等は目をみはるものがあり、ライフサイクルや教育に大きな影響をおよぼしています。

そこで、このような社会の変化に対応し、これからの社会を展望するにふさわしい専門知識を体得する等、多様な欲求にこたえるために「特別公開講座」を開設しました。

この講座を開設するにあたっては、県立大学・県立大学公開講座運営委員会の全面的なご支援やご協力をいただき、幅広い分野で研究活動を続けられている著名な先生方を派遣していただきました。

地域と大学との新しいかわりあいのモデルケースとして企画開設された講座です。

◎開設される講座

●アジアの文化

●古典からみた静岡県

●静岡県の人物史

◎講座内容及び講師

○アジアの文化
(学習日は水曜日)
韓国文化を中心としたアジア各国、それぞれの文化を学習します。
金 兩基教授
(国際関係学部)

○古典からみた静岡県
(学習日は木曜日)
古典文学に登場する静岡県の歴史・背景等を学習します。
須田 悦生教授
(短期大学部)

○開設期間
平成元年十月四日から平成二年二月十四日まで
(午後七時から九時まで約二時間)各講座とも十回
※各講座の学習日程は、開講式の際に配布します。

○静岡県の人物史
(短期大学部)
静岡県内のあらゆる分野で活躍された政・財界人等の生い立ちや業績を学習します。
高木 桂蔵教授
(国際関係学部)

○開講式及び閉講式
開講式：十月四日(水)
閉講式：二月十四日(水)
※各講座の開・閉講式は同時に行われます。
○受講料
三、〇〇〇円(二講座)

◎募集人員
二十人(一講座)
※定員になり次第締切ります。
◎会場
富士川町中央公民館研修室、講義室ほか
◎募集期間
九月一日(金)から九月十二日(金)まで
◎問合先及び申込先
受講される講座名・氏名・住所・年齢・電話番号を明記し、受講料(三、〇〇〇円)を添えて、富士川町文化事業振興会事務局(富士川町中央公民館内)まで申し込んでください。電話でも受け付けをします。
(☎八一一三三三)

◎主催
富士川町文化事業振興会
富士川町・富士川町教育委員会
◎共催
静岡県立大学公開講座運営委員会
◎後援
富士川町文化協会

テントの中心で気持ちがいい

深沢 和彦(南町二)
お盆になると、お父さんの実家の粒良野にみんなが集まります。今年はお父さんが中央公民館からテントを一つ借りてきてくれました。それを粒良野の家の庭に張りました。テントの中で、いとこたちと、ワイワイ、ガヤガヤさわりたり、テーブルを運んできて、ジュースを飲んだりお菓子を食べたり、ゲームをしたりして楽しく遊びました。だけど、夕方になって雨が降ってきました。ぼくたちはスコップでみぞをほったけれど、中まで雨がしみ込んでしまいました。夜はテントの中でねたくても、ねられなかったのがとても残念でした。でも、テントの中心で気持ちがいいし、楽しいなということがわかりました。また来年も、テントを張って、中でいろいろなことをして遊びたいと思います。



9月～10月の予定

- 〔9月〕
「町民文化祭」へふるって参加を! 芸能大会への出演・園遊会への出店 申込締切りは、16日(土)です。
10・17・24日(日) 手漉和紙原料づくり (富士川地区ふるさと教室)
12日(火) 家庭教育学級講演会(太田先生)
16日(土) 体育大会(二中)
17日(日) 体育大会(一中)
運動会(北松野保育園)
郡父親ソフトボール大会
20日(水) まきの木大学全体学習
絵画教室
23日(土) 運動会(一幼)
24日(日) 富士川紀行、運動会(二幼)
30日(土) 運動会(二小)
〔10月〕
22日(日) 文化講演会(斉藤仁氏)
※希望者には9月中旬より入場整理券を配布します。
1日(日) 運動会(一小)
2～6日 夜間照明一般解放
4日(水) 静岡県立大学特別公開講座開講式・絵画教室
7・14日(土) 硬式テニス教室
8日(日) 第33回町民体育大会
10日(火) 中体連新人戦
運動会(さくら台幼稚園)
14日(土) 文学講座
15日(日) 手漉和紙づくり(富士川地区ふるさと教室)
秋季バレーボール大会(混合)

軽スポーツ紹介

——トリムバレーボール——

今まで、軽スポーツの中の『インディアカ』と『グラウンドゴルフ』が、どんなスポーツであるか簡単に紹介してきました。

今月号では、『トリムバレーボール』を紹介します。このスポーツもまた、誰にでも手軽にでき、ルールも簡単です。

ボールの大きさは普通、みなさんが行うバレーボールのボールと比べてみると、直径が二十六cmとかなり大きく、しかも柔らかいので子供から

高齢者までの幅広い年齢層で楽しむことができます。ルールは、「バレーボール」とほとんど同じです。コートはバドミントンコートを利用して、バレーボールコートもバレーボールコートを利用して構いません。得点はサーブ権のあるときの得点となります。サーブは、一本だけでネットに触れて入ってもアウトになります。



普通の「バレーボール」では固くてできない方でも、柔らかい分簡単にできますので、このスポーツに取り組んで、楽しみながらご自身の健康・体力づくりに役立たせてはいかたがですか。

——今後も継続を——

町の観光の可能性と町民のレクリエーションの場に

夏休みの1日目は、すばらしくハッピーでした。私たちが、幼い日々、アユやナマズを獲り、ヒバリを追い、果ては石合戦までした遊びの場として親してきた富士川を子どもたちの手に帰してやりたい気持ちでいっぱいでした。

ただ、カヌーやカヤックでの遊びは初めてのことで、ひっくり返って水を飲むことになるのでは…など案じておりました。しかし、それはまさに杞憂でした。

ふだん行くことのできない対岸の岩場にも容易に渡ることができ、無人島へ上陸する気分を味わいました。また、水面すれすれに鮮やかな銀翅を見せてとぶギンシジミや岩本山の断崖に巣をもつトビが、餌をくわえて飛ぶ姿を、身近に見ることができました。自然に危害を加えるのではなく、自ら自然の一部になりきるふれあいの仕方を堪能しました。すばらしい体験の場を提供していただいたことに感謝します。

富士川リバーランドフェスティバルに参加して



渡辺英樹さん(旭町)



第一小学校サッカースポーツ少年団 菅平カップと富士山カップで優勝

第一小学校（内山輝男校長）サッカースポーツ少年団が夏休みに入り、やじきたサッカー大会、合宿も兼ねた菅平カップや富士山カップなどの大会に出場し、すべて優勝するという好成績をおさめています。

このチームの監督の望月文雄さん（小池）は「父兄の協力があり、子どもたちも夏休み期間中、一生懸命にグラウンドを自主的に走った姿が目につきました。今後の活躍が楽しみです」と話しました。

これからも清水市のチャンピオンカップや二月の県大会に向けて練習に励んでいきます。



チームワークで戦います



話を聞く子どもたちも真剣です

長い夏休みをのりきるため 安全協会がアドバイス

夏休みに入り、毎朝、子どもたちは、ラジオ体操をして規則正しい夏休みの一日が始まります。そこで、町の交通安全協会の人たちが蒲原警察署の婦交さんと協力して、子どもたちに長い夏休みを乗り切るアドバイスとして、交通安全や生活のポイントをラジオ体操が終ると話しました。子どもたちは話に耳を傾け、気を引き締めていました。

家庭で眠っている布がすてきに变身

八月二十一日、消費生活講座「ニユー刺繍」が老人福祉センターで開催され、家庭に眠っているハンカチなどの布を持ち寄った主婦ら三十一人は、すてきな布に変身させようと、熱心に針を動かしていました。

講師の深沢千代子さんは「簡単なステッチで、クロスマーカーを使って色づけして、手軽にできるのがポイントです」と話し、会場を訪れた人は「カットワークはたいへんだけれど、新しいタイプの刺繍で、この方法だと気軽にできて、すぐ利用できる」とたいへん好評でした。



慣れてくると工夫したいでいろいろなものができます。

富士川はきれいかな？ 中学生による水質簡易調査

夏休みに入ったばかりの7月28日、北松野舟戸付近と国道1号線富士川橋下の2カ所で、中学生による水生生物調査が行われました。生徒たちは川の中に入り注意深く石の下などにいるカワゲラやカワエビなどを見つけ、富士川の水に親しむと同時に、水のごれ具合を知り、川の大切さを改めて感じていました。



いろいろな虫が生きているんだね

保健だより (保健婦から)

食中毒を防止する ワンポイント

「食中毒」という文字を最近よく、新聞などで見かけます。七月から九月が発生件数のピークですが、暖房器具が普及されている現在では、冬の食中毒もあるのが一年中、油断できません。

大事なことは、生産者↓加工者↓販売者↓消費者の一貫した衛生保持です。教訓としては「細菌をつけない・ふやさない・殺してしまう」なのですが、そのための三原則は「清潔」「迅速」「加熱と冷却」です。

清潔——材料、機具、そして取り扱う人の清潔が必要です。爪切りや手洗をしますか。中途半端な手洗いは返って、菌を浮き出すだけなので、二〜三分は石鹸で洗いましょう。

迅速——常温に放置しないで、購入後は手際よく調理し、調理したら早く食べましょう。

加熱と冷却——細菌にとっては三十七度前後が最適温度で、十〜六十度では増殖します。冷却保存は五度以下に

してほしいのですが、菌は増殖しないだけで、死にません。冷蔵庫は短時間の貯蔵庫ですので、過信しないでください。六十五度以上になると、ほとんどの細菌は死にますので、加熱するところが一番の殺菌効果になります。

この三原則を守って食中毒を予防しましょう。

そうそう、傷のある手での調理は危険です。ゴムサックを使用するなどの工夫も必要ですね。

8月の交通事故

人身事故	11件(9)	合計23件(25)
物損事故	12件(6)	
富士川身延線	4件(9)	
国道一号线	8件(7)	
町道	8件(6)	
県道	3件(1)	
その他	0件(2)	
()は昨年		

- ### 富士川俳句会 (文協俳句会)
- 初おろす祖母の手縫いの紺浴衣
いさかいのいまだ続けり七変化草
くちなしの花木洩目に匂い立つ
団扇背に揃ひ浴衣の音頭かな
紫陽花の数ほどの人名月院
ポニーテールと三尺ゆらす浴衣の子
さくらんぼ口いっぱい孫二人
集団登校白一色の青田道
山百合に蜂酔ふほどの真昼どき
娘に浴衣着せておちつく祭の夜
くちなしの匂ふ小犬の散歩道
母の着し浴衣解きて花暖簾
夕立に泥を塗られて緋の鼻緒
長谷寺の水子地蔵の露まみれ
カラコロと藍染浴衣に紅の下駄
新盆の義父の好みの煮炊せり
幼児の浴衣姿に孫重ね
- | | |
|-----|--------|
| 東町 | 長谷川三恵子 |
| 上町 | 大石 智子 |
| 川坂 | 伊東きよ江 |
| 小池 | 佐野百合子 |
| 相生町 | 斉藤 延子 |
| 八幡町 | 松尾 保子 |
| 南町二 | 久保田恒子 |
| 八幡町 | 錦織たか子 |
| 清水町 | 村上千里江 |
| 川坂 | 蓑 夕子 |
| 中野台 | 毛保 君子 |
| 新町 | 小笠原和代 |
| 新町 | 土谷 光代 |
| 南町二 | 宇佐美澄江 |
| 新町 | 望月 洋子 |
| 堺町 | 大石 清子 |
| 本通り | 倉内美枝子 |

戸籍の窓

平成元年7・15～8・14届出分

おめでた(敬称略)

区名	氏名	保護者続柄
界町	内山涼平	秀行 長男
川坂	渡邊恭成	光章 二男
川坂	渡邊竜児	太郎 二男
新町	白鳥阿裕美	順一 二女
新町	平野春菜	峰敏 長女
宮町	高橋 蘭	浩司 二女
宮町	浅岡美早	明良 長女
目の出	佐藤祐輔	芳一 長男
目の出	加藤美夏	文雄 長女
八幡町	佐藤俊介	雅彦 二男
中野台	渡邊茉莉	芳男 長女
中野台	前波晃生	友生 長男
清水町	吉田奈津美	政彦 長女

かなしみ

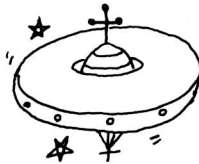
区名	氏名	年齢
木島	芦川未津江	五一
新町本町	森中 重雄	七九
宮町	伊藤 冠一	六七
本通一	望月喜久江	八九
東町一	早川 保一	八四
南町一	市川 政男	七三
八幡町	両角 勝二	五一
大北町	佐野 安彦	六四
大北町	宇佐美あさ	八九
俣下町	杉原 富吉	七九

町への寄付金(敬称略)

7月19日～8月18日
 十万円 杉原徳秋(俣下町)



一里塚



先頃、宇宙を旅しているボイジャー2号から神秘的な青い惑星「海王星」の写真が公開されてきたことは記憶に新

三十万円 佐野みつ子(大北町)
 一万六千七百円 静岡銀行富士川支店
 一万三千六百八十六円 清水銀行富士川支店
社会福祉事業寄付金
 十一万円 明るい社会づくり運動富士川支店
 ふれあい広場寄付金
 一万八千円 明るい社会づくり運動富士川支部

お母さんの「知恵袋」

パセリはオードブルの色どりや、お刺身のつまとして料理のひき立て役をしてくれます。しかし、食べずに捨てていませんか。パセリは緑黄色野菜のビタミンAやCの含有量が、他の野菜に比べて一番多くあります。そこで、こんな利用法はどうでしょうか。油取り紙に包み、電子レンジでからからに乾燥させ

パセリの再利用法

て、ビンに詰めて、きつちり蓋をしておきます。スパゲティやグラタンに振りかけたり、ドレッシングに加えて、召し上ってください。また、常備食としてフキンにみじん切りにしたパセリを包み、さっと水にさらして絞っておきます。これをスूपや粉ふきいもに振りかけてみてください。(婦人会 芦川)

しいことと思うが、この海王星、太陽系8番目の惑星で地球からなんと四十四億キロも離れているという。単に四十四億キロといってもこの世で一番早い光でさえ、四時間余りかかる。だから、たとえ今見えている海王星にしても、それは四時間前のものということになる。しかも、太陽系から目を離せば、光の速さで何万年もかかる星が無数にある。それらは当然、何万年も前のものが今、見えているのである。何とも不思議で、スケールの大きい、ロマンチックなことに感じる。秋になるにつれ、星もきれいに見えてくる。ボイジャーとともに宇宙のロマンを楽しむのも一考ではなからうか。(大石博二)